

令和 8 年 第 2 予算審査特別委員会討論

◎新 政 会

新政会を代表して、第 2 予算審査特別委員会に付託されました、令和 8 年度予算、議案第 2 号から第 7 号までの 6 件につきまして、可とする立場で討論いたします。

はじめに、不安定な国際情勢の影響による物価高騰や本市における人口減少の継続など、厳しい環境の中、経費節減など無駄を省き、効率的かつ効果的な予算編成に尽力された市理事者並びに職員の皆様に敬意を表します。

令和 8 年度は滝川市総合計画における各施策の実施と一部改訂された滝川市立病院経営強化プランに基づいた病院経営を継続しつつ、子育て施策に力を入れた市民がいつまでも住み続けたいと思えるまちづくりの実現に向けた予算を編成されたと認識しております。

計画的かつ適切な予算の執行を要望いたします。

以下、若干の意見を付して討論といたします。

はじめに公営住宅事業特別会計予算ですが、市営住宅の老朽化を踏まえ、みずほ団地 2 号棟など、既存公営住宅の改修を計画的かつ継続的に予算を計上していることを評価いたします。

併せて、市営住宅の維持管理が指定管理者に業務委託され 10 年が経過しました。今後も指定管理者側との密接な連携を維持して、入居者に不便さを感じさせないように配慮していただきたいと思います。

次に下水道事業会計予算ですが長期的な視野に立ち、引き続き計画的かつ効率的に老朽化した設備などの点検・更新を行い安定した経営に尽力していただきたい。

最後に病院事業会計予算について、安定した病院経営と市民に対する適切な医療提供のためにも、引き続き、医師をはじめとする医療スタッフの充実を求めます。

また、令和 7 年度に一部改訂された「滝川市立病院経営強化プラン」に基づき、令和 8 年度の経営黒字化を目指して各種施策を推進していくわけですが、これを達成するためには医師をはじめとするスタッフ全員が共通の想いを持って意欲的に診療などの業務にあるとともに、正当な残業手当の給付や有給休暇の付与などに配慮し、高いモチベーションを維持して施策に取り組むことのできる勤務環境の醸成が不可欠であると考えます。

厳しい経営状況かと推察しますが、病院長以下一丸となり難局を乗り越えていただきたいと思います。

以上、新政会の討論といたします。

◎市民ネットワーク

市民ネットワークを代表し、第2 予算審査特別委員会に付託されました、議案第2 号、令和8 年度、滝川市国民健康保険特別会計予算から議案第7 号令和8 年度、滝川市病院事業会計予算までの6 件、すべての認定を一括可とする立場で討論いたします。

現在我々を取り巻く環境は、かつてない不透明感の中にあります。特に先月末に発生したアメリカ、イスラエルによるイラン攻撃に端を発する中東情勢の激変は、エネルギー供給の要であるホルムズ海峡の封鎖懸念を招き、原油価格の更なる異常な高騰も起こりうる可能性がございます。このエネルギー危機とも呼ぶべき事態は電気、ガス、ガソリン価格の上昇を通じて市民生活を直撃し市内事業者の経営を圧迫する懸念もがございます。昨今の止まらない物価上昇に加えこの新たな国際リスクは本市にとっても逃れられない事実であると認識しております。

また、本市が直面しておる人口減少と言う構造的課題も待ったなしの状況です。少子高齢化に伴う社会保障費の増大や、労働力不足は地域の活力を削ぎ行政サービスの持続可能性を脅かしております。

こうした3 重苦ともいえる、エネルギー高騰、物価高、人口減少と言う厳しい局面において、提出されました令和8 年度予算案は極めて現実的かつ前向きな施策が盛り込まれており、前田市長並びに理事者、関係者の皆様の様々なご努力に心より感謝と敬意を表します。

以下若干の意見を付します。

国民健康保険特別会計については、本市は国民健康保険税率が道の基準より低い故、不足分を繰り入れし税率を変えないという市民の皆様への配慮を評価いたします。ただこのまま繰り入れをしていくのは厳しいのではないのでしょうか。収納率向上の為に皆様のご努力は理解しておりますが、長期的に将来を見据え負担を最小限にしつつも新しい取り組みも視野に入れ財源確保に向け引き続きご尽力いただければと思います。

次に公営住宅・下水道会計につきましては、補修整備、点検を継続することで滝川市内の皆様将来に向けての安心、安全な暮らしを確保していただきたい。引き続き切れ目のない補修整備、点検を実施していただきたいと思います。

次に病院事業会計についてです。室蘭市の市立室蘭総合病院閉院のニュースは正直驚きを隠せなかったです。地方都市での自治体病院急性期医療の維持に向け大変な苦勞をしております。これは全国的な現象でもあり、滝川市立病院が抱える問題も特筆されるものでもないとも考えられます。病院関係の皆様においては日々のたゆまぬご努力は自負しております。今後も経営改善に向けた病院運営に更なるご検討をお願いいたします。

最後に、今はまさに市と市議会が知恵を出し合い一丸となってこの国難、地域課題を乗り越えて行かねばならない時です。本予算案は現下の危機を乗り越え市民の皆様が安心して暮らせる滝川市を維持、発展させる為に最も適切、かつ必要な裏付けであると確信し私からの賛成討論といたします。

◎会派清新

会派清新を代表し、第2予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から第7号を可とする立場で以下討論いたします。

物価高騰と引き続く原油高の中で議論された本予算案は、今後の予算執行に不安を残すものとなりました。しかしながら、今後にも最も不安を感じる原油高の問題は本予算案の策定時点では、予想しえない中東の戦火勃発であり、この事態を注視しながら適切な対応を図らなければならないことを冒頭指摘しておきます。

以下意見を付します。

「病院事業会計」については材料費や燃料費などのさらなる高騰も考えられることから、これまでの努力に敬意を表すところではあるが、一層の経営努力により、この事態に適切に対応されるよう望みます。

他の特別会計、公営企業会計については、まずは保険料、利用料等の適性、適切な受益者負担の徴収に取り組むとともに、病院事業と同様、様々な物価高騰に適切に対応されるよう一層の取り組みをいただきたい。

以上を申し上げまして、賛成討論といたします。

◎公明党

公明党を代表し、第2予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から第7号の6件につきまして、全てを可とする立場で討論いたします。

本市においては人口減少による税収減、中東情勢の影響による原油高による物価上昇による財政への影響が危惧されます。

そういう状況を踏まえ税収を確保する手法を生み出すことであり、また歳出を削減する事と考えます。

歳出削減の一つに、行政改革があります。本年度の市長の市政執行方針「滝川市DX推進計画」が打ち出されました。内部事務の効率化のためのシステム導入に期待いたします。

全国的にも業務の標準化への取り組みが始まります。

「業務の標準化」とは、誰が担当しても同じ結果を出せるように、業務手順やルールを統一し明確化する取り組みです。

効果としては、新人教育の短縮・部異動に対して、業務の手順を文書化し、誰でも見られる状態にしていくことです。

そのことにより、業務内容と業務量を可視化することで、時短の効果が期待されます。

各会計において、行政改革に取り組まれることを要望いたします。

以上申し上げ賛成討論といたします。